

令和3年度
市民自治を考える市民ワークショップ
運営業務

報 告 書

令和4年3月

札幌市市民文化局市民自治推進室

目 次

第1章 開催概要.....	1
1 開催目的.....	1
2 事業概要.....	1
(1) ワークショップテーマ.....	1
(2) 参加者選出.....	1
(3) 開催日時等.....	1
第2章 ワークショップの実施方法.....	2
1 当日のスケジュール.....	2
2 ワークショップにあたって.....	3
3 ワークショップの概要.....	4
(1) グループの編成.....	4
(2) ワークショップの流れ.....	4
第3章 市民自治を考える市民ワークショップの実施.....	5
1 情報提供.....	5
(1) 情報提供①『市民自治』と『札幌市自治基本条例』について.....	5
(2) 情報提供②市民自治を進める3要素と具体例・事例について.....	5
(3) 情報提供③市民自治があるまちのイメージ先進事例.....	5
2 ワークショップ.....	9
(1) ワークショップ①『まちの課題から解決までを考え、市民自治を考えましょう』.....	9
(2) ワークショップ②「市民自治が進んでいるまちってどんなまち？」.....	9
(3) ワークショップの結果.....	10
第4章 参加者アンケート.....	21
1 アンケート実施概要.....	21
2 アンケートの質問項目と結果.....	21
3 参加者アンケート結果のまとめ.....	31
(1) 参加者について.....	31
(2) 参加者アンケート結果.....	31

第5章 配布資料	32
1 情報提供資料	32
2 アンケート票	40

第1章 開催概要

1 開催目的

札幌市では、市民が主役のまちづくり（市民自治）を進めるための基本的なルールである「札幌市自治基本条例」を定め、平成19年4月に施行した。

条例第31条第1項では、「市は、市民自治によるまちづくりに関する施策又は制度がこの条例の趣旨に沿って整備され、又は運用されているかどうかを評価し、必要な見直しを行うための仕組みを整備しなければならない」としており、市民自治の理念を具現化するには、市が市民自治によるまちづくりを実現するために行う取り組みを、市民や市が評価する仕組みが必要である。そこで今回、市民や市が取り組みの評価を行うにあたり、どのような評価方法や評価基準、判断材料などがあれば、より適切な評価ができるのかということについて、立場や年齢、ライフスタイルの異なる市民からも広く意見を聴取するため、市民の参加による「市民自治を考える市民ワークショップ」を実施した。

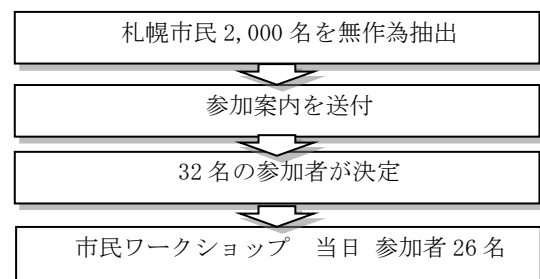
2 事業概要

(1) ワークショップテーマ

「市民自治が進んでいるまちってどんなまち？」

(2) 参加者選出

日ごろ市政への参加機会が少ない方にも広く参加いただくことを目的として、無作為に抽出した札幌市民2,000名に対し参加案内を行い、参加者32名を決定した。その後、欠席連絡等があり、当日の参加者は26名であった。



■参加者数内訳

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	計	
男性	1	1	1	5	5	3	16	26
女性	0	0	3	2	1	4	10	

(3) 開催日時等

子育て世代や仕事をしている方もいるため、できるだけ各世代の方が参加しやすいように、土曜日の開催とした。なお、ワークショップに主体性と責任感を持って参加してもらうため、参加者には後日振込で謝礼を支払った。

■開催日時

日 時	令和4年2月26日（土）13：00～16：00
場 所	札幌市教育文化会館 3階 研修室305 （札幌市中央区北1条西13丁目）
参加者数	26人

第2章 ワークショップの実施方法

1 当日のタイムスケジュール

ワークショップは、次の流れで進行した。

時間	内容
13:00	1. 開会、あいさつ
13:10	2. 情報提供① (10分) 『市民自治』と『札幌市自治基本条例』について ・札幌市の市民自治基本条例ができた背景や内容、市民自治の理念など
13:20	3. 情報提供② (20分) 市民自治を進める3要素と具体例・事例について ・「知る」「意見する」「活動する」の3つの要素の具体例や事例の紹介
13:40	4. ワークショップ① (40分) 「まちの課題から解決までを考え、市民自治を考えましょう」
14:20	5. 休憩 (10分)
14:30	6. 情報提供③ (10分) 市民自治があるまちのイメージ先進事例 ・市政レベル／区～学区レベル／地域コミュニティレベルのそれぞれの先進事例の紹介
14:40	7. ワークショップ② (40分) 「市民自治が進んでいるまちってどんなまち？」
15:20	8. 各グループから発表
15:50	9. まとめ
15:55	10. 閉会のあいさつ、アンケート記入



2 ワークショップにあたって

参加者が積極的に参加できるよう、「当日の案内」を事前に郵送し、参加に当たっての基本的なルールと情報提供などについて周知を図った。

■当日の案内



令和3年度 市民自治を考える市民ワークショップ

参加についてのご案内

ご参加にあたってのご案内事項、注意事項などを記載しています。事前に必ずお読みください。
ご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。（お問い合わせ先は最後に掲載しています。）

【ワークショップの概要】

札幌市では、市民が主役のまちづくり（市民自治）を進めるための基本的なルールである「札幌市自治基本条例」を定め、平成19年4月に施行しました。市民自治の理念を具現化するには、市が市民自治によるまちづくりを実現するために行う取り組みを、市民や市が評価する仕組みが必要です。

このワークショップでは、今後、市民のみならず市が取り組みの評価を行うにあたり、どのような評価方法や評価基準、判断材料などがあれば、より適切な評価ができるのかということについて、ワークショップ形式で話し合っていきます。

皆さまからいただいたご意見は、今後の市の施策や施策の検討にあたっての参考とさせていただきます。

日時

令和4年2月26日（土）13:00～16:00（12:30 受付開始）

- 受付は12:55までにお越しください。「参加者確認票 兼 口座振替申出書」をご提出ください。
- ワークショップ会場（研修室305）の開場は12:30頃を予定しています。

会場

札幌市教育文化会館3階 研修室305（札幌市中央区北1条西13丁目）

- アクセス：地下鉄東西線「西11丁目」駅1番出口 徒歩5分
JRバス、中央バス「北1条西12丁目」停留所 徒歩1分
- 参加者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただき、近隣の駐車場をご利用ください。
- 交通費、駐車料金は参加者負担となりますのでご了承ください。

＜会場付近案内＞



＜3階フロア図＞



当日ご持参・ご提出いただくもの（事前の記載・捺印必要）

「参加者確認票 兼 口座振替申出書」……この郵便に同封しています。

- 参加報酬の振込先口座について、「口座振替申出書」欄の必要事項のご記載とご捺印をお願いいたします。
- ご記載にあたっては、「口座振替申出書」欄の注意事項（※1～5）をよくご覧ください。

参加報酬について

全時間帯参加された方に、ワークショップ終了後に、参加報酬を口座振込でお支払いいたします。

- 参加報酬は3,000円で、源泉徴収はございません。ワークショップ終了後、1か月程度での入金となります。
- 事前・当日のお支払いや、口座振込以外の方法でのお支払いはいたしかねます。
- 「参加者確認票 兼 口座振替申出書」を当日お忘れになった場合や、記載に誤りや遅れなどの不備がある場合は、振込が大幅に遅れることがあります。記載内容を今一度よく確認のうえ、当日忘れずにご持参ください。

参加できなかった場合

万一、参加できなかった場合は、必ずご連絡をお願いいたします。（連絡先は最後に掲載）

- 今回のワークショップは、あらかじめ決定した参加者数をもとに準備しておりますので、特段のご事情がない限り、ご出席くださいますようお願いいたします。
- やむを得ず参加できなかった場合は、できるだけ早くご連絡くださいますようお願いいたします。

当日、交通事情などにより遅れる場合

当日遅れる場合も、可能な限りご連絡をお願いいたします。（連絡先は最後に掲載）

- 天候によっては移動に時間がかかることも考えられます。余裕をもってお出かけください。
- 会場へのご到着が遅れる場合は、可能な限りご連絡をお願いいたします。ご連絡がなく、開始時刻から相当時間を経過した場合は、ご欠席と判断させていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染予防のため、参加者の皆様は以下の事項をお守りください。

- 参加当日の朝は、検温等により体調をご確認ください。体調不良や発熱等がある場合は参加いたしませんので、下記のご連絡先で当日連絡先までご連絡ください。
- マスクの着用と着用
- 入室時の手指のアルコール消毒
- 受付時の検温

※ 熱がある方（検温にて37.5℃以上の体温が測定された方等）、咳やくしゃみが出る方、体調不良の方は退出いただき、不参加扱いとさせていただきます（この場合、参加報酬はお支払いできません。ご了承ください）。

※ 上記以外についても、主催・運営スタッフの指示をお守りください。指示をお守りいただけない場合は退出いただき、不参加扱いとさせていただきます（この場合、参加報酬はお支払いできません。ご了承ください）。

ご参加の皆様やご家族、主催・運営スタッフの健康と安全を守るためのお願いです。ご不便をおかけしますが、何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

その他

- 館内・敷地内は禁煙です。喫煙はご遠慮ください。
- ワークショップ中は、携帯電話の電源をお切りいただき、マナーモードに設定してください。
- 本市のホームページに掲載するため、写真を撮影いたします。また、ワークショップは公開となりますので、報道機関や見学者が入る可能性があります。本市や報道機関が撮影する写真や映像などに映り込む可能性がりますので、ご了承ください。

ご連絡先・お問い合わせ先

平日のご連絡・お問い合わせ先

011-211-2253（札幌市役所 市民自治推進課）

ご連絡可能な時間帯 8:45～12:15 または 13:00～17:15

※ 時間外には応答できない可能性があります。また、市役所閉庁日（土曜・日曜・祝日）は応答できませんので、あらかじめご了承ください。

ワークショップ当日（2月26日）のご連絡・お問い合わせ先

090-4873-3561（当日の緊急連絡専用電話）

ご連絡可能な時間帯 令和4年2月26日（土）12:00～13:30

※ 上記時間帯以外には応答できませんので、あらかじめご了承ください。

3 ワークショップの概要

ワークショップは「市民自治が進んでいるまちってどんなまち？」をメインテーマに設定して、2部構成で行った。

(1) グループの編成

意見交換は6グループ（1グループ4～5名程度）を作り、ワークショップ①とワークショップ②を行った。ワークショップ①の議論を受けて、ワークショップ②ではより深い内容を話し合うことができるよう、グループの再編成は行わなかった。

また、意見交換を円滑に進めるため、総合ファシリテーター1名と各テーブルにファシリテーターを1名ずつ計6名配置し、参加者の意見を引き出し、まとめた。



(2) ワークショップの流れ

1) 進め方の説明

総合ファシリテーターから、ワークショップの進め方について簡単に説明した。

2) ワークショップ

①「まちの課題から解決までを考え、市民自治を考えましょう」（40分）

意見交換のポイント

- 普段の生活の中で、感じているまちの課題をあげてみてください。
- グループ内で、あがったまちの課題から、1つか2つ選んで、その解決方法を話し合ってください。

②「市民自治が進んでいるまちってどんなまち？」（40分）

意見交換のポイント

- 市民自治が進んでいるまちのイメージを具体的に考えてみます。
- どのような人がどのような方法で取り組むシーンがイメージされますか。
- それらを評価する指標も考えてみましょう。

3) グループごとの発表

テーブルファシリテーターがグループ内の意見をまとめ、発表を行った。



4) まとめ

総合ファシリテーターが、全グループの発表内容から意見、傾向等をまとめ、確認した。